

新潟大学佐渡自然共生科学センター

2019（令和元）年度年次報告書

目次

1 佐渡自然共生科学センターについて	1
2 活動概要	1
2-1 各領域の活動概要	1
2-2 領域が連携して取り組む教育・研究活動のハイライト	4
3 研究業績	5
3-1 研究論文・著書等	5
3-2 研究費	12
4 教育活動	14
4-1 学内の教育	14
4-2 佐渡 3 施設で実施した他大学の教育	15
4-3 3 施設で実施したその他の教育	16
4-4 施設利用状況	16
5 地域連携と社会活動	17
5-1 佐渡市との連携による事業	17
5-2 新潟県との連携による事業	17
5-3 その他の地域連携・社会活動	17
6 資料	21
6-1 報道関係	21
6-2 構成員	21

1 佐渡自然共生科学センターについて

新潟大学佐渡自然共生科学センターは、2019年4月に佐渡島の森里海の自然を科学するために、演習林、朱鷺・自然再生学研究施設、臨海実験所の3つの施設からなる総合的な教育・研究センターとして発足した。新センターは森林・里山・海洋領域、及びコミュニティデザイン室からなり、佐渡島の豊かな自然環境を生かした教育・研究・地域連携・国際交流を行うのみならず、河川で繋がる森里海の自然や、社会・歴史などとの複合領域の研究を追求する。

2 活動概要

2-1 各領域の活動概要

森林領域／演習林

森林領域は、大佐渡北部稜線上に大学が所有する約500haの天然林・人工林を中心として、島内・島外の森林において植生学・森林生態学・種生態学・動植物相互作用学などの研究を展開すると共に、農学部・理学部の実習を担当し、教育関係共同利用拠点として他大学の実習も多数実施している。

4月、本学に所属する内部委員及び外部有識者からなる共同利用運営委員会を開催した。委員会では、令和元年度の実施計画及び平成30年度の実施状況報告を行った。また、新センターの発足や施設面での拡充（バイオトイレの設置、浴室のシャワーブース化）についても説明を行った。

演習林への入林が可能な季節である5月～10月に、学内実習や他大学による共同利用実習を実施した。農学部及び大学院自然科学研究科の学内実習は、科目数は10件、実習数は11件、延べ人数1052人であった。このうち実習1件は、本学留学生を対象とする国際的な実習であった。農学部以外の学内共同利用は、教育学部、理学部などによる3件、延べ人数64人であった。他大学や専門学校を対象とした多様なプログラムの共同利用実習は16件実施し、57機関、延べ858人が参加した。このうち、新規の実習は2件、海外の機関に所属する学生を対象とした国際的な実習は2件であった。また単位互換型の公開林間実習1件には、延べ20人が参加した。海外の学生を対象とした実習では、昨年度に引き続きJST さくらサイエンスプランに採択され、中国科学院シーサンパンナ熱帯植物園及び昆明植物研究所から、学生と教員を招へいた。計3件の国際的な実習には、海外の16機関に所属する12ヶ国、延べ人数140人が参加した。

平成30年度の共同利用運営委員会で提案を受けた「実習を通じた教育に関する取り組み」について、今年度から実習時にアンケート調査を行うことで客観的な成果を示す試みを開始した。一部の実習で野外活動の前後に野外活動への興味や五感認識に関するアンケート調査を行い、演習林を中心とする佐渡での野外活動が参加学生に及ぼす心理的効果を測定した。調査結果を統計処理によって定量的に評価し、第131回日本森林学会大会で発表を行った。

実習の公募や活動報告を行うために、ホームページやブログ、Facebookを随時更新して情報

を発信した。これらに加えて、年3回のニュースレターの発行、年5回の佐渡ゼミ（一般公開型セミナー）を実施し、本センターに所属する3施設の協働によるセンター開所記念シンポジウムや学生発表会に参加した。

上記の共同利用実習や学内実習とは別に、8月に一般を対象とした「公開林間実習2019」を実施した。本実習では、参加者22名のうち11名が高校生以下であった。また、地域貢献活動として佐渡市環境フェアや佐渡市外海府地域の文化祭に出展し、演習林の活動報告や生產品の紹介等を行った。

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

里山領域では、新穂潟上にある朱鷺・自然再生学研究施設を拠点として、佐渡のシンボルであるトキの再導入生物学の確立や地域の生物多様性の実態の解明、生態系の復元手法の開発、自然共生に向けた社会システムの構築などにかかわる研究を進めている。自然科学と人文・社会科学の融合を図り、学際的環境科学を推進するとともに、地域住民や行政機関との連携による調査や教育活動にも取り組んでいる。

今年度より環境省「環境研究総合推進費」による研究プロジェクト「森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明」を開始した。今年度を実施した調査からは、加入時の体サイズが異なるなど、地域ごとに回遊パターンが異なる可能性が示唆された。また、加入個体の河川における定着率には海洋生活期間中の成長率が影響を及ぼしている可能性が示唆された。

9月には文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」助成事業による「生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築」を佐渡市と共同で開始し、地域の農業者と技術者が協働で里山農業の課題解決と価値創造の可能性の探索を進めている。課題解決の一つのアプローチとして、生態学的研究にもとづくIBM（総合的生物多様性管理）を推進し、省力型エコロジカル農法の開発に取り組むこととなった。

朱鷺の島地域再生人材創出事業では、佐渡市との連携講座である「ジオパーク市民講座」（全4回、参加者延べ62名）と「市民大学講座」（1回、参加者37名）、佐渡市理科教育センターとの連携講座である「学校教職員対象研修」（全3回、参加者延べ33名）、市民との共同企画による「里山体験ガイドフォローアップ研修」（全3回、参加者延べ25名）を実施した。

海洋領域／臨海実験所

臨海実験所は、フィールドワークを通して海洋生物の多様性とその成り立ちについての実践的高等教育を行うというミッションを基に、佐渡島に残されている豊かな自然環境と生物相を利用して、海洋生物の多様性と適応生理生態学に関する高度な教育・研究を行っている。生物の多様性と普遍性の理解は、生物学の教育研究の基礎となるものであり、平成31・令和元年度は、新潟大学の理学部理学科（1,2年生）、同生物学・地質科学・自然環境科学の各プログラム（3,

4年生), 理学部・農学部のフィールド科学人材育成プログラム(3年生)の学生, 及び大学院自然科学研究科の学生を対象にした臨海実習や講義を通して, 理学部・農学部と自然科学研究科における基礎生物学およびフィールド科学教育に貢献した。

また, 佐渡自然共生科学センターの他の領域/施設(森林領域/演習林, 里山領域/朱鷺・自然再生学研究センター)と連携して, 森・里・海をつなぐ生態系についての高度な知識と見識を持ち国際的にも活躍できる人材の育成を行った。本実験所は, 平成25年度に文部科学省「離島生態系における海洋生物多様性教育共同利用拠点」に認定され, 広く国内外の学生を受入れて, 生物多様性と生態系の機能を理解するための独創的で高度なフィールド教育を展開してきた。平成30年度には, 第二期「佐渡島生態系における海洋生物多様性・適応生理生態学教育共同利用拠点」として再認定された(認定期間:平成30年4月1日~令和5年3月31日)。教育共同利用として, 平成31・令和元年度には, 学内外の実習30件を含め, 延べ1,872名が本実験所を利用した。なかでも, 国際臨海実習「International Marine Biology Course 2019」は, JST さくらサイエンスプランの支援を受けて招へいしたコーチン科学技術大学(インド), バングラデシュ農業大学(バングラデシュ), チッタゴン獣医動物科学大学(バングラデシュ), モナッシュ大学マレーシア校(マレーシア), ハノイ国立教育大学(ベトナム), 国立台湾師範大学(台湾), 国立台湾大学(台湾), 香港大学(中国), 及びディーキン大学(オーストラリア)の9つの海外研究教育機関からの参加者に加えて, 国内の9大学の学生が同時開催した公開臨海実習の国内9大学の学生を加え, 計33名で実施した。また, 演習林との連携の下に中国科学院シーサンパンナ熱帯植物園, 中国科学院昆明植物研究所の臨海実習を実施したりするなど, 国際交流活動を拡大した。公開臨海実習は, 上記国際臨海実習コースに加えて, 海洋生物学コース, 森里海の連携学コースの計3コースを実施し, 日本全国の22校から参加があった。また, 国際連携活動として, 「International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019」を主催した。

地域・社会連携については, 高校生を対象にした臨海実習, 佐渡市の市民向けイベントへの参加, 一般市民向けの公開シンポジウム「新潟大学佐渡自然共生科学センター開所記念シンポジウム」などを実施した。研究活動としては, 原著論文2報, 国際会議での発表8件, 国内学会等での発表21件の研究発表を行った。

コミュニティデザイン室

佐渡島を舞台に, 新潟大学ならびに外部の研究者や企業との連携を図りながら, 自然共生という価値の追求と持続可能な地域の発展につながる実装型プロジェクトを推進するため, 2020年1月1日にコミュニティデザイン室が開設された。

2月8日には, コミュニティデザイン室のスタートアップワークショップ(参加者約50名)を開催し, 地域の方々に参集いただき, 人やナレッジの交わりを育み, 新たな価値創造を生み出すしくみについて, 新潟大学関係者と意見交換を行った。

2-2 領域が連携して取り組む教育・研究活動のハイライト

森里海の研究

1) 環境研究推進費プロジェクト

佐渡自然共生科学センター発足に向けて、2016年度から現センター3領域の若手教員により佐渡島の河川を中心とした生態系間の相互作用について共同研究を実施してきた。その内容を発展させて、2019年より、環境研究総合推進費「森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明」として、佐渡島の小規模な河川群を主な対象として、小型の通し回遊性魚類の海から河川への加入や河川での資源利用に着目して、森里川海の連関の解明に向けた研究を展開している。（代表者：満尾世志人，分担者：飯田碧）

2) 佐渡市・新潟大学 DESIGN-i プロジェクト

効率化・大規模化が困難な「里山農業」の持続的発展を目指して、農家と技術者が連携して課題解決を試みるニーズプル型の研究開発を2019年9月に開始した。課題やビジョンを明らかにするための「里山未来会議」と、課題解決の可能性を技術的観点から考える「ソリューション探索会議」を交互に開き、里山農業を支える技術開発を検討している。コミュニティデザイン室と里山領域の教員で進めているプロジェクトである。（代表者：豊田光世）

3) 森林体験がもたらす心理的効果に関するアンケート調査

演習林で実施される森林学習の実習参加者を対象に、アンケート調査を実施し、どのような変化が生まれるか定量的に調査した。森林の特徴を臭覚や聴覚で捉える力が高まること、専門教育を受ける前の大学生の方が森林への関心や知識の向上に効果的であることなどが、明らかとなった。研究結果を踏まえ、教育効果をさらに高めるための実習内容を検討している。（実施者：松倉君予，阿部晴恵，崎尾均，本間航介，豊田光世）

森里海をフィールドとした特徴的実習

佐渡島の生態系を活かして、3領域が協働した様々な学内・学外実習を実施している。特に、学内全学部生を対象とした「森・里・海フィールド実習」は、全国の大学生を対象とした「公開臨海実習」、長野大学「水環境ゼミナール」と同時開講され、それぞれの生態系における生物の生態、生態系間のつながり、人間活動と生態系の関わりなどについて学ぶもので、森里川海が近接した佐渡島ならではの内容となっている。

シンポジウム等の開催

- 佐渡自然共生科学センター開所式（4月5日）トキ交流会館
- 佐渡自然共生科学センター開所記念シンポジウム（6月2日）あいぼーと佐渡
- 佐渡自然共生科学センター学生発表会（2月21日）臨海実験所

3 研究業績

3-1 研究論文・著書等

論文（英文・和文の順, 筆頭著者アルファベット順）

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
1	Y. Fukasawa, Y. Ando, Y. Oishi, <u>K. Matsukura</u> , K. Okano, Z. Song, D. Sakuma	Effects of forest dieback on wood decay, saproxylic communities, and spruce seedling regeneration on coarse woody debris	Fungal Ecology 41	198–208	2019
2	M. Ikegame, A. Hattori, <u>H. Ando</u> , et al., N. Suzuki	Melatonin is a potential drug for the prevention of bone loss during space flight	Journal of Pineal Research 67	e12594	2019
3	A.S. Makaiau, K. Ragoonaden, L. Leng, C. Mangram, <u>M. Toyoda</u>	The Handmaid’s Tale: Using Literature and Online Journaling to Facilitate a Self-Study of Feminist Identity in an International Research Collective	Studying Teacher Education 15 (3)	334–354	2019
4	N. Oyake, N. Sasaki, A. Yamaguchi, H. Fujita, M. Tagami, K. Ikeya, M. Takagi, M. Kobayashi, <u>H. Abe</u> , O. Kishida	Comparison of susceptibility to a toxic alien toad (<i>Bufo japonicus formosus</i>) between predators in native and invaded ranges	Freshwater Biology https://doi.org/10.1111/fwb.13417		2019
5	<u>M.L. Rahman</u> , <u>M.M. Zahangir</u> , <u>T. Kitahashi</u> , Md. Shahjahan, <u>H. Ando</u>	Effects of high and low temperature on expression of GnIH, GnIH receptor, GH and PRL genes in the male grass puffer during breeding season	General and Comparative Endocrinology 282(1)	113200	2019
6	Wulantuya, K. Masaka, Bayandala, Y. Fukasawa, <u>K. Matsukura</u> , K. Seiwa	Gap creation alters the mode of conspecific distance-dependent seedling establishment via changes in the relative influence of pathogens and mycorrhizae	Oecologia 192	1–14	2020
7	Y. Watanabe, T. Minamitani, S-H Oh, A. J. Nagano, <u>H. Abe</u> , T. Yukawa	New taxa of <i>Rhododendron tschonoskii</i> alliance (Ericaceae) from East Asia	PhytoKeys 134	97–114	2019
8	<u>N. Yamamoto</u> , M. Suzuki, M. Yamamoto	Taxonomic notes on several Japanese Chironomids (Diptera) described by Dr. M. Sasa (†) and his coauthors	Japanese Journal of Systematic Entomology 25 (1)	63–72	2019
9	<u>江藤 毅</u>	トキの潜在的捕食者テンの現状	Wildlife Forum 24	10–11	2019

	著者名	タイトル	雑誌名・巻(号)	ページ	年
10	古郡憲洋, 岸本圭子, 本間航介	里山景観における森林と水田畦畔との接続性の違いが土壌動物群集に与える影響	農業農村工学会論文集	印刷中	
11	梶井照陰, 豊田光世, 川戸 圓, 伊藤真理子	人為と自然	箱庭療法学研究 32 (1)	63-77	2019
12	岸本圭子	トキの巣内ビナの胃内容物から検出されたアカマダラハナムグリの成虫	昆虫ニューシリーズ 22	155-158	2019
13	岸本圭子	水田畦畔のムシたち	Wildlife Forum 24	8-9	2019
14	満尾世志人	ドジョウから見た里山の姿	Wildlife Forum 24	6-7	2019
15	大坪史人, 河口洋一, 田代優秋, 豊田光世	環境保全型農業における販売実態とブランド戦略—新潟県佐渡市の「朱鷺と暮らす郷づくり認証制度」について—	農業市場研究 28 (2)	26-33	2019
16	豊田光世	トキとの共生をめぐる新たな挑戦—生きもの育む農業を目指して	Wildlife Forum 24	12-13	2019
17	豊田光世, 岸本圭子, 満尾世志人, 江藤 毅, 油田照秋	トキ野生復帰から見えてきた佐渡における里山保全の今後	Wildlife Forum 24	14	2019

書籍 (英文・和文の順, 筆頭著者アルファベット順)

	著者名	タイトル	書籍名 (編者)	ページ	出版社	年
1	M. Toyoda	Revitalizing Local Commons: A Democratic Approach to Collective Management	From Biocultural Homogenization to Biocultural Conservation (eds. Rozzi, R., May Jr., R.H., Chapin III, F.S., Massardo, F., Gavin, M.C., Klaver, I., Pauchard, A., Nunez,, M.A., Simberloff, D.)	443-457	Springer Nature Switzerland AG	2019
2	M. Toyoda	Transforming Harmony in Moral Dialogue in the Classroom	Philosophy for Children in Confucian Societies: In Theory and Practice (ed. C-M Lam)	156-167	Routledge	2019
3	本間航介	森林植生から見た佐渡島の自然	日本ネシア論 (長嶋俊介編)	387389	藤原書店	2019
4	豊田光世	p4c とはどのような教育か	子どもの問いでつくる道徳科：実践事例集 (野澤令照編)	8-9, 36, 56	東京書籍	2019

報告書等

	著者名	タイトル	報告書名	ページ	年
1	<u>H. Iwaisaki</u>	Genetic diversity of crested ibis in Japan and challenges	Proc. 3rd International Symposium for Asian Crested Ibis in China, Japan and Korea	151-159	2019
2	<u>永田尚志</u> , <u>岸本圭子</u> , <u>山田宜永</u> , <u>豊田光世</u>	トキの野生復帰のため放鳥個体群・里山の管理手法と持続可能な地域社会モデルの研究 (4-1606) 平成 28 年度～平成 30 年度	環境研究総合推進費終了報告書, 環境再生保全機構	81 (総ページ数)	2019

国際学会・会議での発表（発表年月順）

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
1	<u>R. Asada</u> , <u>M. Iida</u>	Microhabitat use of diadromous migratory fish genus <i>Gymnogobius</i> in the rivers of Sado Island, Japan	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04
2	<u>M. Iida</u>	Diadromous migratory ecology of gobioid fish	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04
3	<u>T. Kitahashi</u> , <u>H. Ando</u>	Diurnal and circadian expressions of the genes for non-visual photoreceptors in the brain and eyes of the grass puffer	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04
4	<u>A. Omori</u>	Exploring evolution of the body axes in deuterostomes-insights from crinoids	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04
5	<u>Y. Uemura</u> , <u>T. Kitahashi</u> , <u>H. Ando</u>	Studies on periodic expression of the grass puffer GnRH2 gene using transgenic fish models	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04
6	<u>M.M. Zahangir</u> , <u>H. Ando</u>	Expression of genes for NMDA receptor NR2 subunit, gonadotropin-releasing hormones and gonadotropins in the brain and pituitary of tiger puffer in the Nanao bay during spawning season	International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019	Niigata University & Yahiko	2019/04

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
7	<u>M. Toyoda</u>	Can we teach values by practicing p4c?: how Japanese teachers try to grow p4c in moral education	The American Philosophical Association Pacific Division, 93rd Annual Meeting	Vancouver, Canada	2019/04
8	<u>H. Iwaisaki</u> (招待講演)	Genetic diversity of crested ibis in Japan and challenges	2019 Korea-China-Japan International Meeting on Crested Ibis	South Gyeongsang Province, Korea	2019/05
9	<u>M. Toyoda</u>	Integrating divergent and convergent thinking for community-based GIAHS projects	The 6th Conference of East Asia Research Association for Agricultural Heritage Systems (ERAHS)	Hadong, Korea	2019/05
10	<u>K. Maeda, M. Iida</u> (招待講演)	Migratory ecology of freshwater gobies in Central and Northern Vietnam	1st National Conference on Ichthyology in Vietnam	Hanoi, Vietnam	2019/06
11	<u>K. Homma</u> (招待講演)	The 'satoyama' ecosystem of Sado Island in harmony with the crested ibis	Regional Consultative Meeting on Biodiversity Mainstreaming across Agricultural Sectors-Asia and the Pacific	Food and Agriculture Organization of the United Nations, Bangkok, Thailand.	2019/07
12	<u>H. Sakio</u> (招待講演)	Life history strategies of riparian forest tree species and their restoration in Japan	The International Symposium of Major refugia of relict trees: Recent Advances in Research and Conservation	Shanghai, China	2019/07
13	<u>H. Abe, R. Katayama, H. Miura, W. Zhonlang</u>	Speciation of the sect. <i>Camellia</i> based on Pollinator shift in Japanese Islands	III International Island Biology conference	La Réunion	2019/07
14	<u>T. Kono, K. Nishiyama, Y. Tsuchiya, M. Toyoda</u>	Repertoires of philosophical inquiry: A practical application of P4C for various purposes	The 19th Biennial International Conference of International Council of Philosophical Inquiry with Children	Bogota, Colombia	2019/07
15	<u>A. Omori</u>	Evolution of the body axes in crinoid echinoderms	The 1st Asian International Conference in Science	Chung Yuan, Taiwan	2019/11
16	<u>H. Ando, Md Shahjahan</u> (招待講演)	Enigmatic clocks in marine animals: semilunar and tide-synchronized spawning rhythm	International Conference on Frontiers in Marine Science Challenge and Prospects "MARICON2019"	Cochin University of Science and Technology	2019/12

国内学会・会議での発表（発表年月順）

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
1	<u>本間航介</u> (招待講演)	トキの保全と地域の創生	経団連自然保護協 議会 2019 年度シ ンポジウム	経団連会 館, 東京	2019/05
2	<u>岸本圭子</u> , <u>古郡憲洋</u> , <u>田中樹己</u>	畦畔管理様式の違いが土壌 動物に与える影響	日本土壌動物学会 第 42 回大会	宜野湾	2019/05
3	泉水奏, 大倉信彦, <u>J. D. Reimer</u> , 喜瀬浩 輝, 広瀬裕一, 小山 洋道, 長谷川和範, 柳 研介, <u>大森紹 仁</u> , 大矢佑基	無脊椎動物におけるヘマト キシリン・エオシン (HE) 染色標本での蛍光顕微鏡観 察の利点	沖縄生物学会第 56 回大会	名護	2019/05
4	<u>大森紹仁</u> , L. <u>Yongxin</u> , <u>W. Wen</u> , 入江直樹, 近藤真理 子	ニッポンウミシダ発生過程 における背腹および左右パ ターニング関連遺伝子の解 析	第 52 回日本発生 生物学会大会	大阪	2019/05
5	<u>浅田稜二</u> , <u>木戸杏 香</u> , <u>飯田 碧</u>	佐渡島の河川におけるハゼ 科ウキゴリ属の微小生息環 境利用	2019 年度日本魚類 学会年会	高知	2019/09
6	<u>飯田 碧</u> , 小黒 環, 白井厚太郎, 安房田 智司	佐渡島におけるアユの回遊 パタンの個体群内変異	2019 年度日本魚類 学会年会	高知	2019/09
7	<u>木戸杏香</u> , 白井厚太 朗, <u>飯田 碧</u>	佐渡島と隠岐諸島における 両側回遊性ヨシノボリ属の 海洋生活期間および河川に おける生息環境	2019 年度日本魚類 学会年会	高知	2019/09
8	角井 健, 能重光希, <u>江藤 毅</u> , 木下豪太, 原田正史, 鈴木 仁	地中性モグラ類の毛色変異 の進化動態の把握	日本哺乳類学会 2019 年度大会	東京	2019/09
9	柳瀬拓郎, 鈴木 仁, <u>江藤毅</u>	佐渡島産哺乳類の集団形成 における氷期-間氷期サイク ルによる影響	日本哺乳類学会 2019 年度大会	東京	2019/09
10	永田尚志, 中津 弘, 油田照秋	トキの稲踏みの影響と対策 について	日本鳥学会 2019 年度大会	東京	2019/09
11	中津 弘, <u>永田尚志</u>	水田の圃場整備と管理手法 が越冬機のトキの採餌利用 に及ぼす影響	日本鳥学会 2019 年度大会	東京	2019/09
12	<u>上村佳正</u> , <u>北橋隆 史</u> , 黒川大輔, <u>飯田 碧</u> , <u>安東宏徳</u>	クサフグ GnRH2 遺伝子のウ ルトラディアン発現調節機 構の解析に向けた遺伝子改 変魚の作製	日本動物学会第 90 回大会	大阪	2019/09
13	<u>M. M. Zahangir</u> , <u>W. Palkowska</u> , <u>安東宏 徳</u> , 小木曾正造, 鈴 木信雄, 松原 創, 上田 宏	Expression profile of the genes in the HPG axis from young and adult tiger puffer during spawning season (未成年および成魚のトラフグの産卵期 における視床下部-下垂体- 生殖腺系に関わる遺伝子の 発現解析)	日本動物学会第 90 回大会	大阪	2019/09
14	豊田光世, 新井信 幸, 高田知紀	自然資源の統合的ガバナンス をめぐる環境倫理的考察	第 21 回日本感性 工学会大会	東京	2019/09

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
15	石井森昭, <u>Sen Ayse Ovgu</u> , 蟹澤翔太, 山田宜永, 杉山稔恵, 谷口幸雄, 横井伯英, 金子良則, <u>祝前博明</u>	トキ国内飼育下個体群における人口学的特徴の現状評価	日本動物遺伝育種学会第 20 回大会	宇都宮	2019/11
16	蟹澤翔太, 山田宜永, 谷口幸雄, 横井伯英, 勝田智博, <u>祝前博明</u>	黒毛和種直検牛の飼料利用性形質における異なる密度の SNP マーカーによって説明される遺伝分散割合の評価	日本動物遺伝育種学会第 20 回大会	宇都宮	2019/11
17	谷口幸雄, 内藤和明, <u>祝前博明</u> , 横井伯英	コウノトリ MHC クラス I 領域のゲノム構造の解析: コンティグの伸長と全塩基配列の決定	日本動物遺伝育種学会第 20 回大会	宇都宮	2019/11
18	<u>北橋隆史</u> , <u>上村佳正</u> , 小木曾正造, 鈴木信雄, <u>安東宏徳</u>	クサフグの脳および眼における光受容体オプシン遺伝子の日周発現変動	第 44 回日本比較内分泌学会大会	埼玉	2019/11
19	渡邊鴻志郎, <u>上村佳正</u> , <u>M. M. Zahangir</u> , <u>安東宏徳</u>	クサフグの前脳における半月周性の発現リズムを持つ遺伝子の探索	第 44 回日本比較内分泌学会大会	埼玉	2019/11
20	<u>松倉君子</u> (招待講演)	菌類の『生活様式の変化』から考える, リター分解の新たな可能性『環境微生物学における革新的手法および生態系保全における活用法』	北海道大学低温科学研究所・共同利用・共同研究拠点・研究集会	札幌	2019/11
21	<u>満尾世志人</u> , <u>飯田碧</u>	ハゼ科魚類による河川加入とその変動要因	第 25 回「野生生物と社会」学会大会	金沢	2019/11
22	浦野明央, <u>北橋隆史</u> , <u>安東宏徳</u> , 小沼健, 福若雅章, 伴真俊, 兵藤 晋	RNA-seq から見えてきたサケの産卵回遊の神経内分泌機構	第 13 回サケ学研究会	函館	2019/11
23	黒澤 凌, 谷口幸雄, 内藤和明, <u>祝前博明</u> , 横井伯英	コウノトリ MHC 領域のゲノム構造の解析による鳥類 MHC の進化に関する新知見	第 42 回日本分子生物学会年会	福岡	2019/12
24	<u>大森紹仁</u>	サドナデシコナマコの幼生の記録	第 16 回棘皮動物研究集会	鳥羽	2019/12
25	<u>阿部晴恵</u> , 三浦弘毅, 片山瑠衣, 上野真義, 陶山佳久, 松尾 歩, 王 仲朗	ポリネーションシフトに基づくツバキ節の種分化	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
26	<u>青木大樹</u> , <u>北橋隆史</u> , <u>満尾世志人</u> , <u>阿部晴恵</u>	佐渡島の河川におけるイワナの食性についての研究	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
27	浅田稜二, <u>木戸杏香</u> , <u>飯田 碧</u>	河川におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の微小生息環境利用	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
28	<u>古郡憲洋</u> , <u>岸本圭子</u> , <u>本間航介</u>	里山の畦畔における除草剤散布および火入れ処理が土壌動物群集に与える影響	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
29	後藤俊矢, 清水宏一郎, 岸田 治, 阿部晴恵	攻撃的捕食者に対するヤマアカガエル幼生の誘導防御	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
30	阪部拓海, 石原正恵, 寄元道徳, 戸田求, 崎尾 均	森林の炭素蓄積量推定の落とし穴：冷温帯天然林における生立木の腐朽の影響	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
31	本間航介, 平方広大, 宮原直也	攪乱後の萌芽発生能力と萌芽の利用可能性の関係について	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
32	飯田 碧, H. D. Tran, H. P. Palla, 小林大純, 白井厚太郎, 前田 健	東南アジアの河川における通し回遊性魚類の回遊規模の推定	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
33	石川 峻, 吉川夏樹, 本間航介	牛糞堆肥を用いた循環型水稻栽培における窒素収支の評価	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
34	木戸杳香, 白井厚太郎, 飯田 碧	対馬暖流域の島嶼におけるヨシノボリ属の仔魚期の海洋生活期間	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
35	岸本圭子, 岸本年郎, 向井喜果, 関島恒夫	トキの餌生物の解明に向けて～ゴミムシ類の DNA バーコードライブラリの構築～	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
36	満尾世志人, 飯田 碧, 山本 直, 中島 智志	ウキゴリ属魚類による河川加入と餌資源利用	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
37	蓑和牙文, 三浦弘毅, 阿部晴恵	ユキツバキとヤブツバキの交雑履歴がどのように花形質多型に影響を及ぼすのか	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
38	永田尚志, 中津 弘, 油田照秋	人口減少の進む佐渡島におけるトキの再導入個体群の将来予測	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
39	岡崎純子, 長谷川匡弘, 鳥山航平, 阪口 奨, 阿部晴恵, 鈴木 浩司	夜から昼へ利用する訪花昆虫のシフト：伊豆諸島におけるツリガネニンジンの訪花昆虫	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
40	清水宏一郎, 後藤俊矢, 岸田 治, 阿部晴恵	共食いとオタマジャクシ捕食下におけるクロサンショウウオの顎形質の変化	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
41	渡辺洋一, 高橋美波, 永野 惇, 上原浩一, 阿部晴恵	本州と伊豆諸島の隔離環境下に生育するハコネコメツツジの進化過程	日本生態学会第 67 回全国大会	名古屋	2020/03
42	今あゆみ, 崎尾 均	溪畔林構成樹種の種子生産の長期動態とそのメカニズム	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03
43	平山こころ, 崎尾 均	ハリエンジュとヤナギ類の分布に及ぼす河川環境と生理生態学的要因	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03
44	小濱宏基, 阿部晴恵, 森口喜成	ユキツバキの果実および種子生産に対するクローン繁殖の影響	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03

	発表者名	タイトル	学会名	会場	年月
45	松倉君子, 阿部晴恵, 崎尾 均, 本間航介, 豊田光世	佐渡演習林における実習の心理的効果	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03
46	松浦隆介, 崎尾 均	沼ノ平地すべり地域における植生の多様性	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03
47	崎尾 均, 増澤武弘	40 年間における富士山森林限界植生の動態	第 131 回日本森林学会大会	名古屋	2020/03
48	岡崎純子, 長谷川匡弘, 阪口 奨, 鳥山航平, 阿部晴恵, 鈴木浩司	広域分布種キョウ科ツリガネニンジンの進化要因の解明: 伊豆諸島における形態変異と訪花昆虫相	日本植物分類学会 第 19 回大会	岐阜	2020/03
49	渡辺洋一, 南谷忠志, S.-H. Oh, 永野惇, 阿部晴恵, 遊川知久	日本・韓国から発見されたコメツツジ類の新種・新変種	日本植物分類学会 第 19 回大会	岐阜	2020/03

【研究集会等の開催】

- ・ International Symposium between BRIMS, University of Toyama, Kitasato University, and Niigata University 2019 – Recent Updates on Animal Behavior and Neurobiology –, Niigata, 2019/4 (海)
- ・ 日本から発信する島嶼生物学-世界の島嶼生物学で日本が果たしうる役割を考える-自由集会 W10 日本生態学会第 66 回全国大会, 名古屋, 2020/3 (阿部晴恵ほか) (森)

3-2 研究費

課題名	実施期間	資金制度名	氏名 (代表・分担)
科学研究費補助金		区分	
日本とアジア大陸間の相互移入に基づく植物多様性ホットスポットの形成プロセス	2019-2021 年度	基盤研究 (C)	阿部晴恵 (代表)
系外資源流入と栄養カスケードが促進する島嶼生態系構成種の適応進化	2019-2021 年度	基盤研究 (B)	阿部晴恵 (分担)
現代社会に生きる哲学教育を構築するための理論的・実践的研究	2018-2020 年度	基盤研究 (B)	豊田光世 (分担)
隠岐諸島に生育する氷河期遺存樹種の更新戦略と遺伝的多様性	2018-2020 年度	基盤研究 (C)	崎尾均 (分担)
島に生息する魚類の分散能力の退化の検証	2018-2020 年度	基盤研究 (C)	飯田 碧 (代表)
魚群縦断探索システムを用いた農業水路軽生態配慮施設の戦略的整備手法の構築	2017-2020 年度	基盤研究 (B)	本間航介 (分担) 満尾世志人 (分担)
同位体から昆虫の機能形質を評価する	2017-2020 年度	基盤研究 (B)	岸本圭子 (分担)
光害による魚類生殖システムへの影響: 脳深部神経に発現する光受容体から	2017-2020 年度	基盤研究 (C)	北橋隆史 (代表)

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
トキの個性の維持機構とその適応的意義	2017-2020 年度	基盤研究（C）	永田尚志（代表）
日本列島における広域分布草本種の分布変遷過程と花形態分化の進化要因の解明	2017-2020 年度	基盤研究（C）	阿部晴恵（分担）
環境の統合的ガバナンスの正当性をめぐる環境倫理的な分析	2017-2019 年度	基盤研究（C）	豊田光世（代表）
体内時計と光、潮汐による生殖リズムの形成機構とその可塑性	2016-2019 年度	基盤研究（B）	安東宏徳（代表） 北橋隆史（分担）
その他公的競争的資金			
森・里・川・海連関の評価手法構築に向けた小型通し回遊魚の生態解明	2019-2021 年度	独立行政法人 環境再生保全機構 環境研究総合推進費 自然共生領域・革新型研究開発	満尾世志人（代表） 飯田 碧（分担）
生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築	2019 年度	文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」助成事業	豊田光世（代表）
佐渡島でのフィールドワークによる、海洋生物の多様性・生態・進化についての研修	2019 年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）	北橋隆史（代表）
佐渡島の森、里、海で多様な生態系とその保全について学ぶ	2019 年度	日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）	阿部晴恵（代表）
受託研究			
沼ノ平地域における植生調査	2017-2020 年度	只見町受託研究	崎尾 均（代表）
民間財団等の競争的資金			
操作実験による絶滅危惧種サトガエルの越冬環境の解明	2019-2020 年度	公益信託 増進会自然環境保全研究活動助成基金	岸本圭子（代表）
トキの餌場整備に向けた DNA バーコードライブラリの構築	2019 年度	一般財団法人佐々木環境技術振興財団試験研究費助成	岸本圭子（代表）
実験下におけるヤマアカガエル幼生とクロサンショウウオ幼生の誘導防御および誘導攻撃に関する表現型可塑性	2019 年度	「自然首都・只見」学術調査助成金	阿部晴恵（代表） 清水宏一郎（分担） 後藤俊矢（分担）
ハリエンジュとヤナギ類の分布に及ぼす河川環境と生理生態学的要因	2019 年度	「自然首都・只見」学術調査助成金	平山こころ（代表） 崎尾 均（分担）
ヤブツバキとユキツバキ交雑帯における花形質多型と遺伝的基盤の関係	2019 年度	内田エネルギー科学振興財団試験研究費	阿部晴恵（代表）
三面川再生にむけたステークホルダー・インタレスト分析と魚類に着目した河川環境再生手法の検討	2019 年度	新潟県建設技術センター研究助成	豊田光世（代表）

課題名	実施期間	資金制度名	氏名（代表・分担）
佐渡島固有種サドガエルの生態および生息環境の解明	2018-2019 年度	公益信託 増進会自然環境保全研究活動助成基金	岸本圭子（代表）
佐渡島固有種サドナデシコナマコの生息状況および生殖生態の解明	2018-2019 年度	内田エネルギー科学振興財団試験研究費助成	大森紹仁（代表）
学内の競争的資金			
「生理生態学」と「脳科学」の融合による新しい生物時計の分子機構の解明	2019 年度	令和元年度新潟大学 U-go グラント	安東宏徳（代表）
社会・生態・水理の融合システムとしての河川環境の統合的評価に関する研究～新潟県村上市三面川を事例に～	2019 年度	令和元年度新潟大学 U-go グラント	豊田光世（代表） 満尾世志人（分担）
寄付金その他外部資金			
p4c 教育の実践研究	2019 年度	公益財団法人 上廣倫理財団・教育研究助成	豊田光世（代表）
種牛の遺伝的評価法に関する研究	2016-2019 年度	公益社団法人 全国和牛登録協会研究助成	祝前博明（代表）
環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト	2004-2019 年度 (継続)	一般財団法人 自然環境研究センター	本間航介 (サイト代表)

4 教育活動

4-1 学内の教育

対象	講義名	開講時期	担当領域
学部			
全学部			
1 年生	地学実験 A	6/2	海
全学年	朱鷺・自然再生フィールドワーク	7/13-14, 8/22-23, 9/4-5, 9/5-6	里
	環境学実習	8/19-21	森・里
	森・里・海フィールド実習	9/9-13	森・里・海
	朱鷺をシンボルとした自然再生	第 3 ターム	里
理・農学部フィールド科学人材育成プログラム 3 年生			
	里地里山再生学	第 1 ターム	森・里
	環境政策論	第 1 ターム	森
	系統分類学	6/29-30	海
	野生動植物生態学実習	7/12-15	森
	自然再生学実習	8/26-29	里
	海洋フィールド生物学実習	9/3-8	海・森
	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習	9/24-28	森
	フィールド安全論	第 3 ターム	森・海
	希少生物保全学	第 3 ターム	森・里
	水圏生態学	第 4 ターム	海
	野生植物生態学	第 4 ターム	森
理学部			
理学科 1 年生	総合力アクティブラーニング（フィールド系）	6/27, 7/20-21	海
理学科 2 年生	系統動物学	7/8-11	海

理学科 2 年生	海洋生物学実験	8/28-30	海
理学科 2 年生	環境生物学野外実習 B	9/17-21	海
理学科生物学 プログラム 3 年生	臨海実習 I	9/3-8	海・森
	動物生理学 III	第 4 ターム	海
農学部			
農学科 1 年生	農学入門	第 1 ターム	海
農学科 1 年生	新潟の農林業	第 3 ターム	森
農学科 2 年生	基礎農林学実習	6/17-20, 7/1-3	森
2, 3 年生	樹木学	9/14-17	森
	動物遺伝学	12/6-20	里
3 年生	育林系演習及び実習	9/1-9/6	森
3 年生	生態系管理演習及び実習	10/17-19	森・里
3 年生	環境モデリング入門	第 4 ターム	里
	動物遺伝増殖学	10/7-11/12	里
トルコ人留学生	佐渡実習	8/26-27	森
教育学部	植物野外実習	6/28-6/30	森
大学院			
自然科学研究科			
修士課程	樹木生態学特論	5/19-5/23	森
修士課程	島嶼生態学特論	8/26-28	森
修士課程	野生植物生態学特論	第 2 学期	森
修士課程	神経内分泌学	第 2 学期	海
修士課程	水圏生物学	第 2 学期	海
修士課程	自然再生学特論	第 2 学期	里
博士課程	環境科学特別講義	1/7-8	里

4-2 佐渡 3 施設で実施した他大学の教育

対象	講義名	2019 年度 開講時期	担当領域
静岡大学, 東北大学, 秋田県立大学, 東京大学	樹木生態学特論 佐渡フィールドスタディー	5/19-23	森
島根大学生物資源科学部	佐渡島実習	5/24-26	森
東邦大学理学部	野外生態学実習 II	5/27-31	森・海
東京大学大学院農学生命科学研究 科	フィールド科学総論 佐渡実習	6/3-6	森・里
東邦大学理学部	野外生態学実習 I	6/24-28	海
新潟農業バイオ専門学校園芸デザ イン科	樹木学	6/25-28	森
中国科学院シーサンパンナ熱帯植 物園, 中国科学院昆明植物研究所	日本・アジア青少年サイエンス交 流事業 (さくらサイエンスプラン)	7/20-26	森・里・海
東京コミュニケーションアート専 門学校	第 1 回佐渡臨海実習	7/22-8/1	海
首都大学東京理学部	生態学野外実習	8/6-11	森
大妻女子大学生物環境保全学ゼミ	臨海実習	8/8-11	海
大阪産業大学デザイン工学部	生態学特別演習 2	8/17-20	森・海
東京慈恵会医科大学ユニット教養 ゼミ	海の生物の探索	8/19-21	海
東邦大学理学部	野外基礎実習	8/21-24	森

公開臨海実習： 全国7国私立大学	International Marine Biology Course	8/21-25	森・海
国際臨海実習：バングラデシュ農業大学・コーチン科学技術大学・チッタゴン獣医動物科学大学・モナッシュ大学マレーシア校・ハノイ国立教育大学・国立台湾師範大学・国立台湾大学・香港大学・ディーキン大学	International Marine Biology Course	8/21-27	森・海
近畿大学水産学部	生物学実習	8/31-9/3	海
公開臨海実習： 全国9国私立大学	海洋生物多様性実習	9/3-8	森・海
静岡大学，京都大学	佐渡島実習	9/6-8	森
長野大学環境ツーリズム学部	水環境ゼミナール	9/9-13	森・里・海
公開臨海実習： 全国9国公私立大学	森里海をつなぐ野外生態学実習	9/9-13	森・里・海
摂南大学，九州大学，津田塾大学，広島女学院大学，金沢大学	卒業研究Ⅱ	9/22-24	森
山形大学，京都大学	フィールドワーカーのためのリスクマネジメント実習	9/24-28	森
東京コミュニケーションアート専門学校	第2回佐渡臨海実習	9/28-10/1	海
大阪教育大学理科教育コース	野外植物実習	9/28-10/1	森

4-3 3施設で実施したその他の教育

対象	講義名	2019年度 開講時期	担当領域/ 実施者
佐渡島内学校教員	探究の対話 (p4c) ワークショップ (全8回)	5/23, 6/20, 7/11, 8/21, 9/12, 10/17, 11/15, 11/21	豊田光世
新潟県内小中学生	新潟大学理学部主催新潟ジュニアドクター育成塾「トキの野生復帰に必要な佐渡島の里山」	7/17	里
高崎経済大学附属高等学校	臨海実習	7/24-26	海
県内高校生	新潟大学公開講座 高校生対象公開臨海実習	8/5-8	海
佐渡市民	公開林間実習 2019	8/17-18	森
早稲田大学高等学院中学部	臨海実習	8/28	海
林業関係者	森林施業研究会	9/28-10/1	森

4-4 施設利用状況

演習林	他大学		学内		一般・小中高生	計
	実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む	実習・研修等 エコツアー除く	
利用人数(延べ)	858	58	1,116	630	132	2,794

朱鷺・自然再生学研究施設 (キセン城)	実習活動	研究活動	その他
	延べ 127 名	延べ 108 日	延べ 151 日

臨海実験所	他大学			学内		一般 小中学校	計
	フィールド 利用型 実習	公開臨 海実習	実習以外	実習	実習以外 所属学生含む	実習・研修 等	
利用人数(延べ)	781	189	67	377	2,412	418	4,244

5 地域連携と社会活動

5-1 佐渡市との連携による事業

- 1) 人材育成事業「朱鷺の島地域再生人材創出事業」(里)
- 2) 研究プロジェクト「生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築」(文部科学省「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決(DSIGN-i)」助成事業)(里・CD)

5-2 新潟県との連携による事業

- 1) 新貝地区圃場整備事業に関わるサドガエル生息実態調査(里)
- 2) 循環型エコアイランド環境学習事業(里)
- 3) 天王川自然再生事業モニタリング調査(里)

5-3 その他の地域連携・社会活動

内容	実施日	会場	担当領域／ 実施者
小中高校の教育支援			
佐渡市立畑野小学校	探究の対話 p4c	5/28	畑野小学校 豊田光世
佐渡市立赤泊小学校	環境学習会	6/7	赤泊小学校 満尾世志人
佐渡市立金井小学校	環境学習会	6/12	金井小学校 満尾世志人
佐渡市立小木小学校	環境学習会	6/13	小木小学校 満尾世志人
佐渡市立松ヶ崎中学校	「森の講座」ビオトープ体験実習	7/12	新穂潟上ほ場 本間航介
佐渡市立加茂小学校	探究の対話 p4c	7/12	加茂小学校 豊田光世

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
佐和田中学校生徒	チリモン生き物調べ	8/23	臨海実験所	海
佐渡市立高千小学校	佐渡島の天然スギ	9/25	高千小学校	崎尾 均
新潟県立佐渡高等学校	総合的な探究の時間 「セルフチャレンジ」 (全3回)	11/7-8, 12/25	佐渡高等学校	豊田光世
新潟県立佐渡中等教育学校	循環型エコアイランド 環境学習会「佐渡島の 森林について」	11/22	佐渡中等教育 学校	本間航介
佐渡市立真野小学校	探究の対話 p4c	11/15	真野小学校	豊田光世
山形県立米沢東高等学校	探究の対話 p4c	11/24	米沢東高等学 校	豊田光世
佐渡市立松ヶ崎小学校	探究の対話 p4c on zoom	3/19	松ヶ崎小学校	豊田光世
学校教員向け研修				
佐渡市立畑野小学校	探究学習 p4c 校内研修	5/7	畑野小学校	豊田光世
姫路市立白鷺小中学校	探究学習 p4c 校内研修	5/29	白鷺小中学校	豊田光世
佐渡市立加茂小学校	探究学習 p4c 校内研修	6/5	加茂小学校	豊田光世
佐渡市理科教育センター サドガエル等佐渡固有生物 生態研修会	佐渡の食う食われるの はなし～サドガエルを 中心に～	7/6	佐渡市役所本 庁大会議室	岸本圭子
佐渡市立理科教育センター	磯の生物の生態研修会	8/2	臨海実験所	海
姫路市小学校教育研究会生活・総合部主催夏季研修会	p4c を生かした探究学 習	8/5	姫路市手柄山 交流ステーシ ョン	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	加茂湖再生等環境教育 研修会	8/20	加茂湖畔	豊田光世
佐渡市立真野小学校	探究学習 p4c 校内研修	8/21	真野小学校	豊田光世
三条市教育委員会 道徳教育研修	p4c と道徳教育	9/21	三条市役所栄 庁舎	豊田光世
佐渡市立理科教育センター	トキの生態研修会	10/12	トキ交流会館	永田尚志
佐渡市立相川中学校	学級経営研修会	11/15	相川中学校	豊田光世
宮城教育大学附属小学校	p4c 授業研修	2/21	宮城教育大学 附属小学校	豊田光世
宮城教育大学	p4c みやぎ2月研修会	2/21	仙台市生涯学習 支援センター	豊田光世
市民向けセミナー・フォーラム等				
奥びわ湖・山門水源の森 現 地交流会	ユキバツバキの魅力 に迫る-ヤブツバキと ユキツバキの出会いの 場所・山門	4/14	西浅井まちづ くりセンター	阿部晴恵
里海セミナー	新月と満月の夜に会い ましょう-クサフグの 月周産卵のしくみ	4/22	石川県水産総 合センター	安東宏徳
佐渡地域振興局農林水産振 興部「農業農村整備事業推 進研修会」	サドガエルの生態と環 境配慮について	6/4	トキのむら元 気館	岸本圭子
新潟放送 BSN 主催「親子て つがく対話ワークショップ」	哲学対話を体験しよう	6/8	BSN	豊田光世
佐渡地域振興局農林水産振 興部共催	田んぼの生きもの調査 イベント「サドガエル	6/23	佐渡島内水田	里

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
	ラボ」			
佐渡在来生物を守る会「佐渡在来生物を守る会シンポジウム2019」	サドガエルの生態・生息環境について	6/29	金井コミュニティセンター	岸本圭子
新潟大学旭町学術資料展示館企画	『アンモナイト展』スタンプラリーポイント, 展示協力	7/20-8/31	臨海実験所	海
環境省・佐渡市 人・トキ共生の島づくり協議会	総会	7/25	トキ交流会館	本間航介
佐渡博物館・佐渡市立理科教育センター	同定会	8/18	佐渡市立理科教育センター	岸本圭子
NPO 法人 JUON Network	トキの島森の楽校	8/19-21	トキ交流会館 ほか	本間航介
尾瀬サミット2019	水辺林の生態と管理	9/3	奥只見 緑の学園	崎尾 均
佐渡市理科教育センター	子どものための科学祭り	9/15	アミューズメント佐渡	海
東北経済産業局 水産加工業イノベーション人材確保事業	漁業法改正研究会 合意形成コーディネーター (全3回)	9/17 10/12 12/6	石巻水産総合振興センター	豊田光世
日本建築学会・農村計画委員会・集落居住小委員会主催研究会	地域外支援者と佐渡島の風景を世話する	9/21-22	宿根木公会堂	豊田光世
特定非営利活動法人日本民家再生協会, 民家フォーラム2019 in 佐渡	シンポジウムコーディネーター	10/12	金井能楽堂	豊田光世
善福寺川を里川にカエル会主催, 第6回善福寺川を里川にカエル会シンポジウム	ワークショップコーディネーター	10/26	杉並区立井萩小学校	豊田光世
佐渡棚田協議会・佐渡市主催, 佐渡棚田シンポジウム	パネリスト	11/10	トキ交流会館	豊田光世
佐渡市環境フェア2019	展示	11/10	トキのむら元 森・里・海 気館	森・里・海
只見町町制施行60周年記念事業「自然首都・只見」及び「ユネスコエコパーク」情報発信講演会	只見町の自然に魅せられて	11/23	季の郷 湯ら里	崎尾 均
新潟大学佐渡同窓会講演	新潟大学佐渡自然共生科学センターの紹介	11/27	Ryokan 浦島	崎尾 均 安東宏徳
宮城教育大学・公益財団法人上廣倫理財団主催, 第5回探究の対話 (p4c) フォーラム in 仙台	指導助言・講師	11/30	宮城教育大学	豊田光世
東北大学大学院文学研究科東北文化研究室主催, 一般公開シンポジウム&哲学カフェ「対話の文化を創る」	シンポジスト	12/1	東北大学	豊田光世
第111回種火の会	子どものための哲学 p4c	12/17	佐渡総合病院 講堂	豊田光世
佐渡市第8回市民大学講座	テントウムシの斑紋から見た地球温暖化	1/15	金井コミュニティセンター	祝前博明
佐渡スキューバダイビング	佐渡島の無脊椎動物た	1/12	北小浦ダイビ	大森紹仁

内容		実施日	会場	担当領域／ 実施者
協会水中環境研修会	ち		ングセンター	
佐渡市環境アドバイザー研 修会	ヤブツバキとユキツバ キ 身近なツバキはち よつと変わった植物	1/21	トキ交流会館	阿部晴恵
トキ稲ふみに関する座談会 (全4回)		1/23, 24, 31	下久知公民館 大和活性化セ ンター, 羽茂農 村環境改善セ ンター, 羽二生 集落開発セン ター	永田尚志 本間航介 豊田光世
佐渡市トキガイド養成講座	佐渡島の植物について	1/30	トキ交流会館	崎尾 均
屋久島研究講座	水辺の樹木の生活史	2/13	屋久島環境文 化村センター	崎尾 均
朱鷺と暮らす郷づくり推進 フォーラム	これからの「ひと」と 「トキ」と佐渡の環境 グループワーク	2/22	佐渡市防災セ ンター	永田尚志 豊田光世

5-4 シンポジウム・セミナー等の開催

名称	開催日	会場
新潟大学佐渡自然共生科学センター 開所式	4/5	トキ交流会館
佐渡自然共生科学センター開所記念シンポジウム	6/2	あいぼーと佐渡
新潟大学公開講座 「佐渡は居よいか住みよいか-生き物からみた佐渡の自然」		駅南キャンパス ときめいと
森編 講師：崎尾 均	11/6	
里編 講師：永田尚志	11/13	
海編 講師：安東宏徳	11/20	
島の自然史編 講師：満尾世志人・阿部晴恵	11/27	
社会編 講師：豊田光世	12/4	
森林領域佐渡ゼミ		演習林
第36回「野外における植物写真の撮り方」 講師：いがりまさし・植物写真家	5/21	
第37回「世界の高山植物」 講師：増澤武弘・静岡大学理学部客員教授	9/7	
第38回「戸隠神社杉並木における近年の樹高成長」 講師：小山泰弘・長野県林業総合センター 『育林ガイドライン』の方向と着地点 講師：今井正憲・京都府森林技術センター 「散水条件が菌床椎茸発生に与える影響」 講師：中田理恵・静岡県農林技術研究所森林/林業研究センター	9/29	
第39回「環境省生物多様性モニタリング1000の概要と現状」 講師：丹羽慈, 甲山哲生・(財)自然環境研究センター, 環境省生物多様性モニタリング1000ネットワークセンター	10/28	
第40回 佐渡自然共生科学センター学生発表会 (3領域共催)	2/21	臨海実験所
佐渡自然共生科学センターコミュニティデザイン室スタートアップ ワークショップ「地域と大学がつながるコラボレーションのデザイン」	2/8	五十嵐キャンパ ス 図書館

6 資料

6-1 報道関係

- 1) 新潟日報, 「森・里・海 一体研究を推進」, 2019/4/17 (海)
- 2) 新潟日報, 「自然と人の関わり学ぶ」, 2019/6/21 (海)
- 3) 環境新聞, 「トキと共生する社会を実現する」, 2019/07
- 4) 日本経済新聞 「新潟大と佐渡市 対話型会議通じ農業の課題解決」, 2019/8/9 (里)
- 5) #GlobalAOS: <https://americanornithology.org/globalaos-hisashi-nagata/>, 2019/8/22 (永田尚志) (里)
- 6) NST プライムニュース, 「佐渡で国際臨海実習 海外の学生 生物の多様性学ぶ」, 2019/8/23 (海)
- 7) 新潟日報, 「ウニの生態に熱視線 海外大学生が臨海実習」, 2019/9/4 (海)
- 8) NHK 定時(昼) ニュース, NHK 新潟ニュース 610, NHK 文字ニュース「中国から提供されたトキに新たな遺伝子の領域」, 2019/9/20 (祝前博明) (里)
- 9) 新潟日報, 「遺伝子領域に新タイプ-中国からのトキ“関関”」, 2019/9/21 (祝前博明) (里)
- 10) 新潟日報 「里山農業の振興語り合う～住民と対話, 支援策提案へ」, 2019/9/26 (里)
- 11) ワイルドライフ (NHK BS プレミアム) 屋久島現地取材, 2019/10/20-27 (崎尾 均) (森)
- 12) 新潟日報, 「コメツツジの新種発見」, 2019/11/24 (阿部晴恵) (森)
- 13) ワイルドライフ (NHK BS プレミアム) 「世界遺産 屋久島 伝説の巨大杉を探せ!」, 2020/1/27, (崎尾 均) (森)
- 14) NHK BS4K, 「巨樹百景 神様の木に会う」, 2020/3/24 (本間航介) (森)

6-2 構成員

センター長/副センター長

崎尾 均・センター長 博士 (理学)

専門分野: 森林生態学, 水辺林の生態と保全, 樹木の生活史

研究テーマ: 水辺の樹木の生活史戦略

所属学会: 日本生態学会, 日本森林学会 (中等教育連携推進委員会委員), 日本植物学会 (副会長・運営委員), 植生学会, 種生物学会, 森林立地学会, 屋久島学ソサイエティ, IAVS

外部委員: 只見町ユネスコエコパーク支援委員会委員長, 只見町ブナセンター紀要編集委員, 只見町沼ノ平総合学術調査団調査団長, 佐渡ジオパーク推進協議会委員, 日本 MAB 計画委員会委員, 樹木医学研究編集委員会常任委員

箕口秀夫・副センター長 学術博士

副学長・農学部教授

専門分野: 森林科学, 保全生態学

研究テーマ: 野生生物と共存が可能な森林管理技術の検討, 開発

所属学会: 日本森林学会, 日本生態学会, 日本哺乳類学会

外部委員: JABEE 分野別 (森林分野) 審査委員会 (日本技術者教育認定機構), 新潟県版 J-クレジット制度認証委員会, 新潟県環境影響評価審査会委員, 新潟県野生鳥獣保護管理対策検討会, 新潟県指定管理鳥獣捕獲等検討会, 朝日飯豊山系カモシカ特別調査指導委員会, 新潟県奨学金給付採用候補者選考委員会, 中野市十三崖のチョウゲンボウ繁殖地保全整備事業検討委員, 阿賀町総合計画審議会

森林領域/演習林

崎尾 均・森林領域長・教授 博士 (理学)

本間航介・准教授 博士 (理学)

専門分野：森林生態学，里山生態学，保全生態学
研究テーマ：高ストレス・高攪乱環境下における木本植物の更新戦略，里山複合景観が有する生態機能の定量的解明

所属学会：日本生態学会，種生物学会，日本植生史学会

外部委員：環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系コアサイト検討委員，環境省生物多様性モニタリング 1000 森林系一般サイト検討委員，環境省・佐渡市 人・トキ共生の島づくり協議会副会長，新潟県トキ野生復帰アドバイザー，佐渡市環境アドバイザー，JaLTER（日本長期生態研究ネットワーク）佐渡サイト代表

阿部晴恵・准教授 博士（理学）

専門分野：島嶼生態学，保全遺伝学，進化学

研究テーマ：島嶼における生物の進化，ツバキ属の種分化，生物間相互作用

所属学会：日本生態学会

外部委員：日本生態学会自然保護委員会，環境省モニタリングサイト 1000 里地調査 中・大型哺乳類写真同定ワーキンググループ

外部講師：佐渡市環境アドバイザー

松倉君予・特任助教 博士（農学）

専門分野：菌類生態学，森林生態学

研究テーマ：ヤブツバキ及びユキツバキの葉内生菌と落葉分解菌の生態，ツバキ属菌核病菌ツバキキンカクチャワシタケの生態

所属学会：日本生態学会，日本菌学会，日本森林学会

外部講師：佐渡市環境アドバイザー

谷口憲男・技術専門職員

濱田栄一・技術職員

柳屋喜和・技術補佐員

平越高弘・技術補佐員

本間大也・技術補佐員

石塚しのぶ・事務補佐員

川嶋一二三・事務補佐員

古郡憲洋・自然科学研究科博士課程 1 年

研究テーマ：里山の水田-森林複合景観における土壌動物群集を介した物質循環機能の定量化

石川 峻・自然科学研究科修士課程 2 年

研究テーマ：牛を用いた稲作における里山流域の窒素循環の推定

平方広大・自然科学研究科修士課程 2 年

研究テーマ：コナラ属落葉高木における bud bank 類型化と萌芽枝形成との関係

伊藤 翔・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：島嶼におけるシマヘビのハゼ食に関する研究

来住健太郎・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：土石流後の溪畔林樹木の更新

松浦隆介・自然科学研究科修士課程 1 年

研究テーマ：沼ノ平地すべり地域における植生の多様性

青木大樹・農学部 4年

研究テーマ：佐渡河川におけるイワナの食性についての研究

後藤俊矢・農学部 4年

研究テーマ：クロサンショウウオの大顎化に応じたヤマアカガエル幼生の誘導防御発現量の比較

今 あゆみ・農学部 4年

研究テーマ：溪畔林構成樹種の種子生産における豊凶周期と長期年変動のメカニズム

佐藤憲史・農学部 4年

研究テーマ：水田生物群集に対するネオニコチノイド系殺虫剤の影響

宍戸 勇・農学部 4年

研究テーマ：里山の窒素循環の定量化による管理・評価手法の開発

清水宏一郎・農学部 4年

研究テーマ：ヤマアカガエル幼生の捕食と同種間共食いに応じたクロサンショウウオ幼生の大顎化の比較

平山こころ・農学部 4年

研究テーマ：伊南川におけるハリエンジュとヤナギ類の分布様式に及ぼす河川環境と生理生態要因

藪和冴文・農学部 4年

研究テーマ：ヤブツバキとユキツバキの交雑帯における花形質と遺伝的基盤

宮原直也・農学部 4年

研究テーマ：落葉広葉樹 7 樹種のクローナル木本の萌芽特性と潜伏芽の貯蔵様式の関係

里山領域／朱鷺・自然再生学研究施設

永田尚志・教授・領域長 理学博士

専門分野：鳥類生態学，保全生物学

研究テーマ：トキの再導入生物学に関する研究，鳥類の繁殖戦略

所属学会：日本生態学会，日本動物行動学会（Journal of Ethology 編集委員会副編集長），個体群生態学会，日本鳥学会（評議員），鳥類標識協会（評議員），American Ornithological Society, Wilson Ornithological Society, Waterbird Society, Association of Field Ornithologists, International Ornithologist Union

外部委員：環境研究総合推進費 4-1707 課題アドバイザー委員，河川学術研究会委員，河川水辺の国勢調査鳥類スクリーニング委員会委員（以上，国交省関係），トキ野生復帰検討会委員，モニタリングサイト 1000（森林・草原調査）コア・準コアサイト検討会委員，モニタリングサイト 1000 森林・草原調査解析ワーキンググループ委員，モニタリングサイト 1000 陸生鳥類検討会委員，鳥類標識調査検討会委員，ヤンバルクイナ保護増殖事業ワーキンググループ委員（以上，環境省関係），印旛沼水質改善技術検討会水草再生ワーキング委員（千葉県），佐渡市環境審議会委員，人・トキの共生の島づくり協議会委員，IUCN SIS the International Glossy Ibis Network (IGIN)委員，佐渡市環境アドバイザー

岸本圭子・准教授 博士（人間・環境学）

専門分野：群集生態学，昆虫学

研究テーマ：昆虫の種間相互作用，生物多様性，群集動態に関する研究

所属学会：日本生態学会，日本昆虫学会，土壤動物学会，Association for Tropical Biology and Conservation

外部委員：文部科学省科学技術予測センター専門調査員，新潟県環境影響評価審査会委員，新潟県地域振興局・圃場整備新貝地区「環境配慮検討委員会」委員，佐渡市環境アドバイザー

満尾世志人・准教授 博士（農学）

専門分野：水域生態学，群集生態学，農業環境工学

研究テーマ：水田水域における魚類群集の形成機構及び自然再生，通し回遊魚の回遊生態

所属学会：日本生態学会，「野生生物と社会」学会，応用生態工学会，日本陸水学会，日本魚類学会

外部委員：佐渡市環境アドバイザー

豊田光世・准教授 博士（学術）

専門分野：環境哲学，合意形成学，環境教育，対話教育

研究テーマ：環境共生社会の実現に向けた市民参画プロセスのデザイン

所属学会：日本環境教育学会，日本感性工学会，「野生生物と社会」学会，The International Council of Philosophical Inquiry with Children

外部委員：日本学術会議連携会員，新潟県環境審議会委員，佐渡市世界農業遺産推進会議委員，佐渡市生物多様性佐渡戦略推進委員会社会系ワーキングチーム委員，人・トキ共生の島づくり協議会委員，佐渡市立行谷小学校学校関係者評価委員，宮城教育大学上廣倫理教育アカデミー諮問委員，平成31年度水産多面的機能発揮対策支援委託事業検討委員会委員

外部講師：東京工業大学グローバルリーダー教育院非常勤講師，東京工業大学リベラルアーツ研究教育院非常勤講師，兵庫県立大学地域資源マネジメント研究科非常勤講師，関東学院大学人間共生学部非常勤講師，東京海洋大学客員准教授，佐渡市環境アドバイザー

江藤 毅・特任助教 博士（農学）（～10月31日）

専門分野：動物生理生態学

研究テーマ：哺乳類の環境適応能力，里山の野生動物管理に関する研究

所属学会：日本生態学会，日本動物行動学会，「野生生物と社会」学会，日本哺乳類学会，日本暖地畜産学会

祝前博明・特任教授 Ph.D.

専門分野：量的遺伝学，遺伝統計学，動物育種学等

研究テーマ：トキ集団の遺伝的多様性に関する研究等

所属学会：日本畜産学会，日本動物遺伝育種学会等

外部委員：トキ野生復帰検討会（環境省），中央審査委員会・育種推進委員会・産肉能力検定委員会（全国和牛登録協会），牛ゲノム選抜手法検討委員会（畜産技術協会），畜産生産能力・体制強化推進事業検討委員会（肉用牛改良情報活用協議会），和牛遺伝的多様性活用委員会・和牛経済形質総合評価検討部会（全国肉用牛振興基金協会），日本畜産学アカデミー・日本動物遺伝育種学会理事等，佐渡市環境アドバイザー

外部講師：石川県立大学生物資源環境学部非常勤講師，京都大学農学部非常勤講師

山本 直・特任助手 博士（農学）（9月1日着任）

専門分野：昆虫系統分類学，水生昆虫学，生態学

研究テーマ：ユスリカ科昆虫の系統分類および多様性創出メカニズムに関する研究

所属学会：日本昆虫学会，日本昆虫分類学会

長嶋直幸・特任助手

倉橋玄宜・技術補佐員

海洋領域／臨海実験所

安東宏徳・教授・領域長 理学博士

専門分野：生殖内分泌学，神経内分泌学

研究テーマ：産卵回遊魚の海洋環境適応の脳内メカニズム

所属学会：日本動物学会（理事，関東支部代表委員），日本比較内分泌学会（幹事），日本下垂体研究会（評議委員），日本水産学会，The Asia and Oceania Society for Comparative, Endocrinology (AOSCE) (Councilmember)

外部委員：新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議委員，佐渡海区漁業調整委員会委員，佐渡ジオパーク推進協議会調査・研究部会部員，金沢大学環日本海域環境研究センター教育関係共同利用拠点運営委員会委員，金沢大学環日本海域環境研究センター共同利用・共同研究拠点運営委員会委員，佐渡市環境アドバイザー

外部講師：放送大学非常勤講師

飯田 碧・准教授 博士（農学）

専門分野：魚類生態学，水圏生物学

研究テーマ：魚類の通し回遊についての生態学的研究

所属学会：日本水産学会，日本魚類学会，日本生態学会，日本動物学会

外部委員：新潟県環境影響評価審査会委員，佐渡市環境アドバイザー

外部講師：北里大学海洋生命科学部特別講師

大森紹仁・助教 博士（理学）

専門分野：進化発生学，系統分類学

研究テーマ：祖先型棘皮動物ウミユリ類の発生と分類に関する研究

所属学会：日本動物学会，日本発生生物学会

外部委員：佐渡市環境アドバイザー

北橋隆史・特任助教 博士（理学）（3月31日転出）

専門分野：神経内分泌学

研究テーマ：脳内光受容体を介した光による魚類生理制御機構

所属学会：日本動物学会，日本比較内分泌学会，The Asia and Oceania Society for Comparative Endocrinology (AOSCE)

外部委員：佐渡市環境アドバイザー

下谷豊和・技術専門職員

小杉かおる・技能補佐員

本間精一・技能補佐員

Mohammad Lutfar Rahman・自然科学研究科博士課程3年

研究テーマ： Studies on the regulation of kisspeptin/gonadotropin-inhibitory hormone system in the lunar-synchronized spawning of grass puffer

Zahangir Md. Mahiuddin・自然科学研究科博士課程2年

研究テーマ： Regulation of Kiss/GnIH/GnRH system in spawning migration in the grass and tiger puffers

上村佳正・自然科学研究科修士課程2年

研究テーマ：遺伝子改変魚を用いたクサフグ GnRH2 遺伝子の周期的発現調節についての研究

木戸杏香・自然科学研究科修士課程2年

研究テーマ：両側回遊魚ヨシノボリ属の海洋生活期間および河川における生息環境

浅田稜二・自然科学研究科修士課程1年

研究テーマ：河川におけるウキゴリ属魚類の微小生息環境利用

Weronika Palkowska・自然科学研究科特別研究学生

研究テーマ： Molecular mechanism of lunar-dependent regulation of neuropeptide gene expression through melatonin in the grass puffer

中島智志・理学部生物学科 4 年

研究テーマ：佐渡島におけるハゼ科ウキゴリ属魚類の餌資源利用

中島崇志・理学部生物学科 4 年

研究テーマ：環境 DNA (eDNA) を用いた佐渡島内におけるサドナデシコナマコの分布調査

コミュニティデザイン室

豊田光世・准教授・室長 博士（学術）

里山領域と兼任

北 愛子・特任助手

研究プロジェクト「生物多様性と農業技術革新が共存するエコロジカル・コミュニティの実装に向けて：里山創生「佐渡モデル」の構築」担当

センター事務室

鈴木 忍・事務室長

高橋美由紀・事務補佐員

日比谷広美・事務補佐員

新潟大学 佐渡自然共生科学センター 2019（令和元）年度年次報告書

発行日：2020年8月1日

編集：佐渡自然共生科学センター 広報委員会（本間航介，飯田碧，豊田光世）

発行：新潟大学 佐渡自然共生科学センター

<https://www.sices.niigata-u.ac.jp>
